

未来世紀のミュージアム

野林厚志のぼやしあつし

民博研究戦略センター

「おたから」の陳列から、さまざまな人びととの対話によりつくられる展示へ。
ミュージアムに期待される機能や役割は、時とともに変わっていく。
これからミュージアムはどのように変化していくのだろうか。

20xx年のみんぱく

それにしても、今の資料検索は昔にくらべて格段に進歩している。世界各地の博物館がオンラインで結ばれていて、相互のデータベースの横断検索なんて当たり前である。借用したい資料がどんな形やサイズかはそれぞれの博物館が提供している三次元の計測データを利用すればわかるので、3D設計ソフトで展示場の立体配置をデザインできるし、3Dプリンターで出力すれば、資料の立体像がプリントアウトできるから、展示の方法だっけあらかじめ考えておける。そうそう、二〇年前に常設展示のリニューアルをしたときには、まだ二次元の設計図が主流で、実際に展示してみるとずいぶん考えていたことと違ってしまった。修正する、いや修正しないでずいぶん議論したことがあった。今では考えられないことである。と書いている間に、国立台湾博物館と順益台湾原住民博物館が所蔵しているタイル族の貝製ビーズで装飾された上衣がプリントアウトされてきた。3Dプリンターで出力したもので表面の形状や色彩、大きさはほぼ把握できる。これですは展示のシミュレーションをしてみよう。

未来への遺産

十数年後に筆者がまだ博物館に職をえていることを想定し、展示会の準備の様子を想像してみた。夢のような話に思われるだろうか、それとも近い将来の現実ととらえることができるだろうか。現実には3Dプリン

ターの実用化は進んでいる。博物館資料の内部構造も含めた三次元データをとることを目的としたCTスキャナーを導入している博物館も存在する。データベースの横断検索も技術的には何ら問題はなく、メタデータの設定やデータの属性をどのように関連づけていくのかという、むしろ資料を扱う方法論が問題とされているのが現状である。高度情報社会における博物館や美術館はその対応にせまられている。博物館は博物館でもあるという民博もそれに対応することに日々追われている。今の時代の博物館は、ものを収集し、保管し、展示する場所であることはもちろんのことだが、人びとが集い、体験を共有し、情報を発信する拠点として強く期待されている。いや、ミュージアムという名のもとで、ものにこだわる意識が薄れてきたようにさえ感じられてしまっているのである。

あしかけ七年間、連載してきた「地球ミュージアム紀行」で紹介した博物館や美術館は八〇館以上。長い伝統をもつ博物館もあれば、個人のさやかな思いで作られた資料館等、その規模やかたちはさまざまであった。そこに共通していたのは、ものがあり、それを見た人、手にした人たちが紛れもない現実として存在するということである。執筆者たちはいわばその存在の証人たちであろう。実際に足をはこび、展示を観覧し、関係者と話した事実がこの連載で積み重ねられてきたと言ってもよい。二一世紀初頭の世界の博物館事情にかかわる貴重な証言を「地球ミュージアム紀行」は遺してくれたようである。

本コーナーで取り上げた各地のミュージアム

オセアニア	リヨン市立レジスタンス・強制移住センター	12年2月号	ベトナム	ベトナム民族学博物館	07年10月号
オーストラリア	国立移民史博物館(シテ)	12年7月号	ベトナム革命博物館		09年6月号
パワーハウス博物館	08年7月号	ブルガリア	ヨーグルト博物館	09年11月号	
オーストラリア華人歴史博物館	13年6月号	マケドニア	マケドニア博物館	13年2月号	
ニューージーランド		アフリカ			
オークランド博物館	07年9月号	エチオピア	シェリフ・ハラール博物館	13年4月号	
アメリカ		タンザニア	スクマ博物館	13年5月号	
アメリカ合衆国		ナイジェリア	ラゴス現代美術センター	10年1月号	
エクスポラトリウム	07年12月号	マダガスカル	トゥアリラ大学附属博物館	14年2月号	
楽器博物館	08年8月号	南アフリカ共和国			
国立アメリカ・インディアン博物館	09年1月号	アパルトヘイト博物館	07年6月号		
セックス・ミュージアム	09年3月号	ヘクター・ピーターソン博物館	07年6月号		
ルイジアナ州立博物館	11年8月号	西アジア			
北アリゾナ博物館	13年12月号	エジプト	大エジプト博物館		
ネブラスカ大学付属		保存修復センター	11年4月号		
キルト研究センター博物館	13年9月号	ヨルダン			
カナダ		死海資料館/死海博物館	07年5月号		
ウミスタ文化センター	10年3月号		08年12月号		
グアテマラ		カラク考古博物館	08年12月号		
ラビナル・アチ・コミュニティ・ミュージアム	12年1月号	国立ヨルダン博物館	08年12月号		
セントクリストファー・ネイビス		サルト歴史資料館	08年12月号		
セントキッツ博物館	09年4月号	レバノン			
チリ		石けん博物館	12年8月号		
チリ国立美術館	11年11月号	ドゥッバーネ邸	12年8月号		
メキシコ		南アジア			
ソコヌスコ地方博物館	08年3月号	インド			
ヨーロッパ		ニューデリーの寺院・廟墓・史跡	07年8月号		
イギリス		マイナ・マハル博物館	08年2月号		
ヴィクトリア&アルバート美術館	08年9月号	サンスクリティ博物館群	09年12月号		
オランダ		スワームーナーラーヤン・アクシャルダム寺院	10年12月号		
トロッペン博物館	08年11月号	アンダマン人類学博物館	13年11月号		
テイラー博物館	12年6月号	東南アジア			
スペイン		インドネシア			
ハムの博物館	09年9月号	インドネシア国立政策移民博物館	08年6月号		
ドイツ		スティア・ダルマ			
ハイデルベルク民族博物館	07年7月号	飯面と操り人形の家	14年1月号		
ダイアローグ・イン・ザ・ダーク	11年3月号				
ライプツィヒ民族学博物館	11年10月号				
数学博物館	12年10月号				
フィンランド					
郵便博物館	11年12月号				
国立諸文化博物館	12年11月号				
フランス					
エロティシズム・ミュージアム	09年3月号				
ピラミッド博物館	09年10月号				
		中央・北アジア			
		カザフスタン			
		カヌシ・サトバエフ博物館	13年3月号		
		モンゴル			
		エルデニ・ゾー博物館	13年1月号		
		ロシア			
		ロシア科学アカデミービョートル大帝記念人類学民族学博物館	12年12月号		
		東アジア			
		韓国			
		大韓民国歴史博物館	13年10月号		
		台湾			
		国立故宮博物院	08年5月号		
		順益台湾原住民博物館	08年5月号		
		台湾故事館	10年9月号		
		新竹市立動物園	12年4月号		
		国立台湾歴史博物館	13年8月号		
		中国			
		三江トン族博物館	07年11月号		
		生態博物館	08年4月号		
		広西民族博物館	09年8月号		
		広東民間工芸博物館	10年7月号		
		寧波藤頭実践例館	11年1月号		
		日本			
		長崎歴史文化博物館	08年1月号		
		神奈川県立近代美術館	08年10月号		
		鹿児島純心女子大学附属博物館	09年2月号		
		神奈川県立地球市民			
		かながわプラザ・あーすぶらざ	09年5月号		
		兵庫県立美術館	09年7月号		
		東北学院大学博物館	10年2月号		
		水の歴史館	10年4月号		
		恩納村博物館	10年5月号		
		アイヌ民族博物館	10年6月号		
		正倉院	10年8月号		
		水俣病歴史考証館	10年10月号		
		国立民族学博物館	10年11月号		
		日本の鬼の交流博物館	11年2月号		
		野島断層保存館	11年6月号		
		海洋文化館	11年7月号		
		トヨタテクノミュージアム			
		産業技術記念館	12年9月号		
		小浜民俗資料館	13年7月号		